



FAX COVER LETTER

日本モンキーセンター
学芸員 赤見理恵

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 3枚

送信日 2013年 8月 27日

期間限定の「黄金色！！」

フランソワルトンに赤ちゃんが生まれました！

8月も終わろうとしているのにまだまだ暑い毎日が続きますが、みなさまお元気でお過ごしのことと拝察いたします。さて、日本モンキーセンターでは7月26日に、ひときわ目立つ赤ちゃんが生まれましたので、お知らせいたします。

フランソワルトンは頬の白いラインを除くと全身黒色のサルですが、赤ちゃんの色は親の色と全く異なり、金色の毛に包まれて、生まれてきます。この金色の毛は、約1ヶ月ほどで生え変わり始め、3ヶ月もすると母親と同じ黒色の毛に生え変わり、顔も黒くなります。金色の毛は、母親だけでなく群れの他個体からの保護を促す役割があると言われていました。

母親のリンリンにとっては、早産、流産を経てようやく生まれた赤ちゃんです。金色ということで“めでたい”話題としても、やっと生まれた赤ちゃんと母親の仲睦まじい心温まる話題としても、ぜひ金色の毛をしている貴重な期間にみなさまにご覧いただきたく、ご案内いたします。



7/26 に生まれたフランソワルトンの赤ちゃんと母親(カラーでお見せできないのが残念です)

★カラーの写真データをデータにてお送りすることも可能です★

■今回誕生した赤ちゃんについて

赤ちゃんの名前： ウイ 性別： メス
生年月日： 2013年7月26日
母親の名前： リンリン(16才)
父親の名前： チャーミー(11才)
展示場所： 日本モンキーセンター内 アジア館

一人暮らしだったリンリンの元にチャーミーが来園してから、2頭の相性はとてもよく、繁殖が期待されていました。しかし初めての赤ちゃんは早産で、2回目の赤ちゃんは中期流産で、育ちませんでした。今回3回目となる赤ちゃんは無事に生まれ、元気に育っています。しかし、母親のリンリンにとって初めての子育てであるため、出産直後の母親にストレスを与えないよう、発表が出産1ヶ月後となりました。ご理解いただければ幸いです。

■フランソワルトンについて

英名：Francois' Lutong
学名：Trachypithecus francoisi
ワシントン条約：附属書2に記載された国際保護動物である
IUCNのレッドリストのカテゴリ：VU A1cd+2cd, C2a
分布：中国、ベトナム、ラオスの一部
特徴：

- ・全身が黒く、頭頂部の毛がまっすぐ立っている。耳から鼻にかけて白い毛が生えている。
- ・新生児の毛色は金色がかかったオレンジ色。
- ・木の葉を主に食べる。
- ・野生下での生態については分かっていないことが多い。

■取材について

展示場所である「アジア館」は檻型の展示です。通常は人止め柵の外からご覧いただけますが、取材のお申込をいただきましたら、人止め柵の中に入ってください、檻越しに撮影していただくことが可能です。（動物の状態により変更する場合があります。）

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林26 財団法人日本モンキーセンター
TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823
担当：学芸員 赤見理恵、主任学芸員 高野智、園長 加藤章

日本モンキーセンターのメールアドレス(info@j-monkey.jp)へメールを頂ければ、夜間も含め、毎日確認とお答えをさせていただきます。